

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院泌尿器科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2006年1月1日～2022年3月31日の間に、副腎腫瘍(非機能性腫瘍あるいは原発性アルドステロン症)のために虎の門病院泌尿器科に入院・通院し、腹腔鏡下副腎摘除術を受けられた方

【研究課題名】

副腎原発性アルドステロン症に対する腹腔鏡下副腎摘除術後の血清K値の変動

【研究の目的・背景】

《目的》

当院で行われた原発性アルドステロン症に対する腹腔鏡下副腎摘除術の診療データから術後に低K(カリウム)血症が進行する可能性があるかどうかを検討したい。

《研究に至る背景》

原発性アルドステロン症では高アルドステロン血症による低K血症や高血圧が引き起こされ、これらの症状は手術による病側の副腎を摘除することで改善することが知られていますが、しかしながら、臨床的には摘除後に一過性の低K血症の進行を示す症例があり、このような臨床経過についてはこれまでに報告されていません。もしも、本当にそういった病態があり得るのであれば、術後管理にも非常に関わる病態であるため、当院の臨床データを用いて統計的に調査、解析を行いたいと思います。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年1月19日～2024年4月1日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院本院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院泌尿器科 浦上慎司のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院・虎の門病院分院の院外へ提供する場合】

本研究において、診療情報を虎の門病院外へ提供することはありません。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、放射線画像データ、手術記録、薬歴、看護記録など

【虎の門病院における研究責任者】

泌尿器科・浦上慎司

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年10月1日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 泌尿器科・林田迪剛

電話 03-3588-1111(代表)